

# 視聴覚教育

NO. 433

発行日

29. 7. 3

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

## これ知ってる！？

『VR』  
(Virtual Reality,  
バーチャルリアリティ)  
日本語では、仮想現実。コンピュータなどを用いて、映像をあたかも現実かのように体感させる技術。実際はその場に自分がいなくても、世界の風景や創造上の物語に没入感を得ることができる。

## || 視聴覚教育あれこれ ||

パソコンの機能が更新・追加されました

普通教室・パソコン室

普通教室やパソコン室のPCは、定期的にアップデートされたり、新しいソフトウェア・ゲームがインストールされたりしており、日々使いやすさが増えています。

## ★今回の更新内容

・デジタル教科書アップデート

算数(小)・数学(中)、理科(小中)、英語(中)

・「スクラッチ」をインストール(小中)

(スクラッチについては6月号参照)

・「キューブきつず4」をインストール

(小学校の普通教室用PC)

デジタル教科書は、教科書の図表や写真を拡大したり、注目させたい部分に書き込みをしたりして、子供の意識を焦点化することができます。また、動画やアニメーションの教材提示により、経時変化など視覚的に捉えさせることもできます。算数・数学、理科のデジタル教科書は、デスクトップ上の「C.O.N.E.T.S」から利用できます。

「キューブきつず4」は、普通教室のPCにもインストールされたことで、パソコン室で児童が作成し、保存した作品を、教室でも利用することができます。キューブ活用コンテンツのHPには、たくさん活用事例が掲載されており、参考にすることができます。

私たち教師には、ICTの活用を通して、子供たちの思考を活性化し、より深い学びにつながる授業をデザインすることが求められています。まずは、新しくなった機能をぜひ試して、その特性を確認してみてください。実際に使ってみることで、効果的な活用方法がきっと見つかります。

## 「不易と流行」で教育を支える

岡崎市視聴覚ライブラリー所長 小野 鋼二

木漏れ日が差し込む森の木々の間を、カメラが通り抜ける。岡崎固有の植物の姿が、生き生きと映し出される。「岡崎市広報YouTube」に投稿されている、北山湿地の姿です。視聴覚ライブラリーでは、岡崎市の様々な歴史・自然資産のPR映像を制作し、岡崎市の公式YouTubeチャンネルで公開する取組を行っています。視聴覚ライブラリーでは、このような映像の制作において、重視していることがあります。

一つは、撮影対象の魅力を、映像の美しさにこだわりながら、できる限り視聴者に伝えることです。指先ほどの小さな植物の姿を精緻に捉えるため、制作者は何度も現地に通り、膨大な時間と情熱をもって撮影します。さらにそうして撮影した映像から、最高の一瞬だけを切り取り、作品としてまとめます。選りすぐりの精緻な映像で撮影対象の姿を記録することでこそ、その魅力を表現し、的確に伝えられるのです。

加えて大切なことは、新しい技術に対して常に敏感であることです。例えば、視聴覚ライブラリーでは「VR」の可能性に注目しています。

現実では体験できない、または体験が難しいことを、没入的に疑似体験できる新しい技術です。この技術を、岡崎市の観光PRや、社会教育・学校教育における教材開発に利用できれば、視聴覚ライブラリーが撮影した精緻な映像を、より強いインパクトをもって、具体的な「体験」として市民の用に供することができますように考えています。

さて、映像制作を取り巻く環境や技術、さらに視聴者の求めるものも日々変化していますが、そこには「不易と流行」があります。精緻な映像という「不易」の部分と、新しい技術という「流行」の部分は、教育に携わる私たちにとってどちらも欠かせないものです。学習者の意欲を呼び起こす教材には、学習者が画面に食い入るように見入り、そこから新たな問題に気付くという流れを支えるに足る精緻な映像と、それを現代の学習者により強いインパクトをもって突き付けることのできる新しい技術の両方が必要なのです。

視聴覚ライブラリーでは、今までも、そしてこれからも、「不易」と「流行」の両面を大切にしながら、社会教育、学校教育に資する活動を行ってまいります。

## 実践報告Ⅱ

### 視野を実感するためのプロジェクトの活用

六ツ美北中学校 酒井 雄一

中学校二年生の理科「草食動物と肉食動物の目の付き方と視野のちがい」の学習で、デジカメとプロジェクトを活用して動物の両眼視差を視覚的に実感させる実践を行った。

草食動物及び肉食動物の頭骨をペーパークラフトで作製し、中にカメラを入れた。それぞれ



の目から見える部分を撮影し、その写真を二台のプロジェクトを用いてホワイトボードへ投影した。すると、両者の視野の広さの違いや、両眼の視野が重なる部分の違いを明確に示すことができた。さらに、両者の視野の範囲をホワイトボードへ重ねて記入すると、より明確に視野の違いを示すことができた。

その後、なぜ肉食動物と草食動物で視野が異なるのかを考える時間を設けた。それぞれの食性の違いや、天敵から身を守る必要性などから、視野の違いが生まれたことが話し合われた。生徒からは「目の位置が違うことで、視野だけでなく立体的に像が見えるかも違うことがよく分かった」という感想が出された。また、「横に目がある感覚を体験できたのがよかった。楽しく分かる授業だった」と記述した生徒もいたことから、生徒の興味・関心を引き出すことができたと考えられる。

今後もICTを活用し、生徒の興味・関心を高め、「分かる」授業づくりに取り組みたい。

## レッツ・トライ！ICTⅡ

### 今回紹介する機能

#### OKサイン「Myグループの設定」

一斉に内部メールを複数の人に送る際、送信相手のユーザーを毎回一人ずつ選択しては、時間と手間がかかってしまう。それを解消するためには、OKサインで「Myグループ」を設定するとよい。

設定が完了すれば、内部メールの宛先を選ぶ画面で「Myグループ」が利用できる。

「Myグループ」に設定されたメンバーを選択し、送信先に追加すれば、手間と時間をかけずに、すぐに一斉送信の準備ができる。



他にも、OKサインの「スケジュール」画面でも「Myグループ」の設定を生かすことができる。

この画面では、自分が登録した「Myグループ」のメンバーのスケジュールを表示できる。ここで、「予定の登録」画面から、「Myグループ」で表示したユーザーに参加者に加えることで、全員に対して一斉に予定を追加し、スケジュールを共有することができる。互いの予定も簡単に閲覧できるため、各々の日程を調整する際に便利である。

日々の作業の効率化を図るためにも、まずは一度「Myグループ」の機能を使うことをお勧めする。詳しい設定方法は、「視聴覚・情報教育の手引き 第22集」のp.37・38を参照いただきたい。

（常磐中学校 学習情報主任 加藤 崇夫）

## ライブファミリーだよ

### 平成29年度「親子映画会」のお知らせ

#### 〈上映日と会場〉

- ・ 7月23日（日）  
大平市民センター  
南部市民センター（シビックセンター内）
- ・ 7月30日（日）  
中央市民センター 矢作市民センター
- ・ 8月6日（日）  
ぬかた会館 東部市民センター
- ・ 8月20日（日）  
六ツ美市民センター 岩津市民センター

#### 〈上映時間〉

- ・ 午前の部 午前10時～11時30分
- ・ 午後の部 午後1時30分～3時

#### 〈上映作品〉

- ・ 竹取物語
- ・ 美女と野獣
- ・ 忍たま乱太郎
- ・ 長ぐつをはいた猫
- ・ りゅうの目のなみだ
- ・ 七夕ものがたり

※各会場で右のうちから三本を上映します。

#### ●「子どもビデオ教室」の御紹介

小学生対象のビデオ映像作品制作講習会を年に複数回実施しています。一日で台本の作成、撮影、編集、鑑賞を講師の指導のもと行います。映像作品の制作を通して、子供たちのコミュニケーション能力や表現力の育成を目指します。参加を希望する学校は、視聴覚ライブラリーまで御連絡ください。

